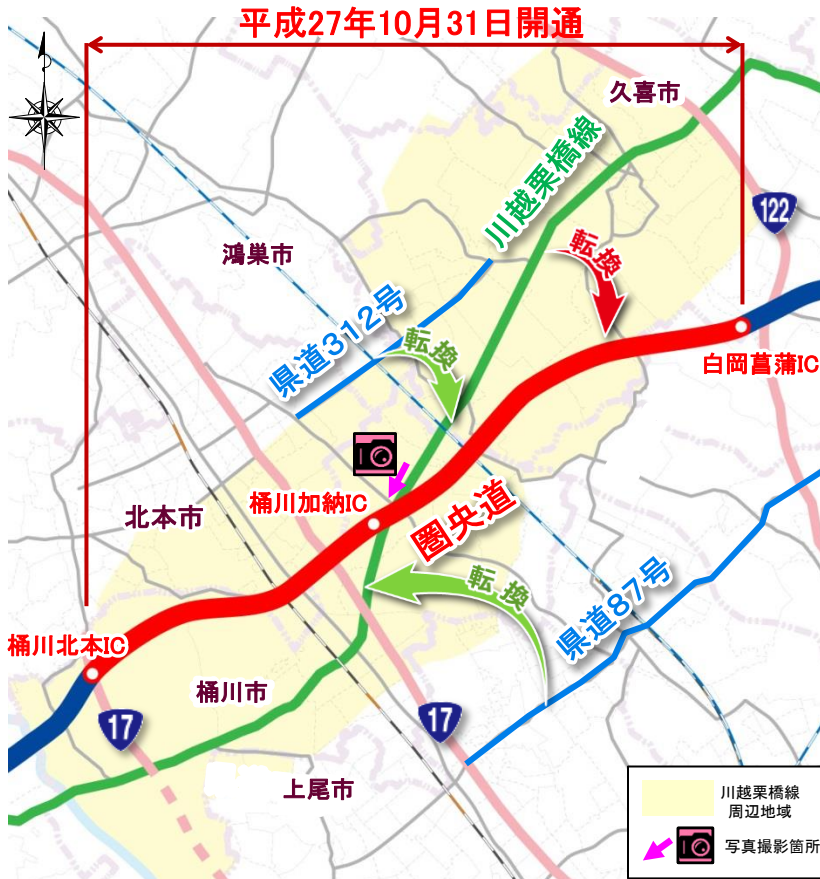


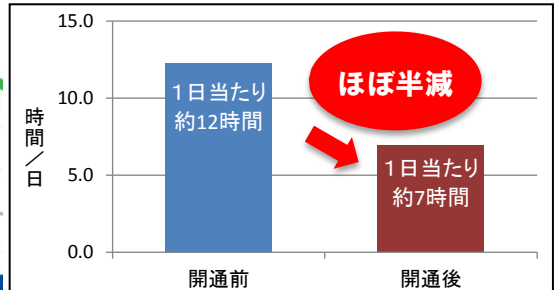
# 効果④ 生活道路の安全性が向上

- 圏央道の開通により、川越栗橋線の交通が圏央道に転換。混雑を避け生活道路に流入していた交通量が大幅に減少
- 川越栗橋線の周辺では、渋滞発生時間・急ブレーキ発生回数がほぼ半減
- 埼玉県全体の事故発生件数が約7%減少しているのに比べ、川越栗橋線周辺では圏央道の整備効果もあり約21%と大幅に減少

## 圏央道に並行する川越栗橋線周辺地域の交通状況

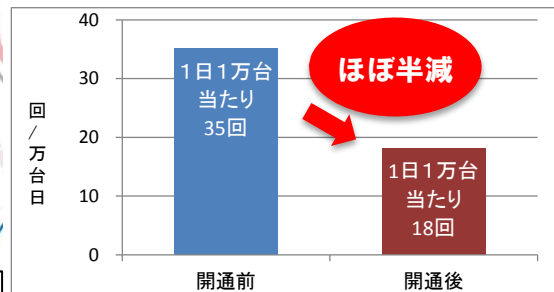


## 川越栗橋線周辺地域での渋滞発生時間\*1の変化



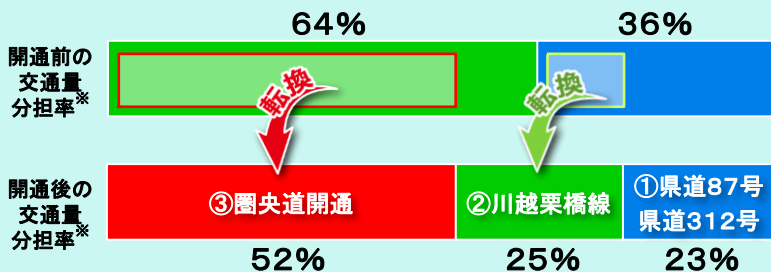
開通前: H27.10.1~H27.10.30  
 開通後: H27.11.1~H27.11.30  
 出典) ETC道路プローブデータ  
 ※1: 各月・各時間帯別の区間旅行速度20km/h以下の時間帯

## 川越栗橋線周辺地域での急ブレーキ発生回数\*2の変化



開通前: H27.10.1~H27.10.30  
 開通後: H27.11.1~H27.11.30  
 出典) ETC道路プローブデータ  
 ※2: 単位車両あたりの-0.3G以上の急減速発生回数  
 「減速度0.3G以上」を急ブレーキと定義。一般的に旅客輸送では0.3Gを越えると乗客に不快感を与えると考えられている。

## 玉突き効果

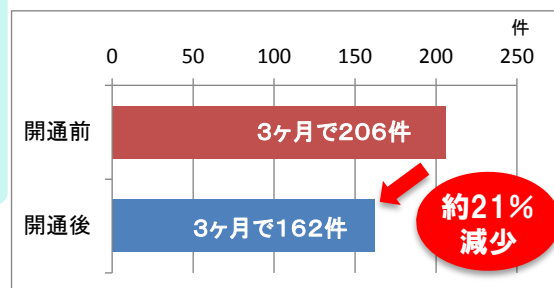


開通前: H27.10.1~H27.10.30 開通後: H27.11.1~H27.11.30  
 出典) ETC道路プローブデータ ※分担率: 路線間の交通量(期間内の合計サンプル台数)の割合

## 川越栗橋線の交通状況



## 川越栗橋線周辺地域での事故発生件数の変化



開通前: H26.11~H27.1  
 開通後: H27.11~H28.1  
 出典) 埼玉県警察本部データ  
 死傷事故発生件数の推移(物損は含まない)  
 参考) 埼玉県全体の事故件数の比較  
 開通前: 8208件  
 開通後: 7651件(約7%減少)